

第三期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会
（第7回）議事要録

- 日時 平成26年9月23日（火・祝）午後1時30分～午後3時45分
- 場所 クリーンセンター3F 見学者ホール
- 出席 小澤紀美子会長、高橋豊委員、村井寿夫委員、塩澤誠一郎委員、藻谷征子委員、島英二委員、押元正樹委員、興相信子委員、渡部直子委員、平田昭虎委員、越智征夫委員、高石優委員、島森和子委員、新垣俊彦委員、木村浩委員
事務局（馬場主査他）
コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊主管他）傍聴者5名
- 欠席 水谷俊博副会長、高橋健一委員、早川峻委員、木村文委員、千綿澄子委員、岡田敬一委員、山崎君枝委員、金子和雄委員
- 配布資料 1. 施設・周辺協議会（第6回）議事要録、2. 工事の状況報告、
3. 仮囲いアートワークショップ実施報告、
4. 新クリーンセンター啓発イベントの実施について、
5. むさしの環境フェスタ案内、6. 「生活と環境」平成26年9月号 記事抜粋

- ・新委員の紹介：緑町二丁目三番地域住民協議会の推薦により欠員補充として本日より渡部委員が加わることとなった。

1. 建設工事の進捗状況について

- ・資料2「工事の状況報告」に基づき、工事の進捗状況について事務局より説明。
- ・資料3「仮囲いアートワークショップ実施報告」に基づき、ワークショップの実施報告を事務局より行った。
- ・委員 ワークショップの事前リハーサルと当日の手伝いをしたが、自分自身も楽しみながら参加することができた。親子が和やかな雰囲気の中で一つのものを作り上げるということは素晴らしいと感じた。固いイメージの工事現場が、アートによって和やかな雰囲気となり、胸を張って紹介できるような成果になったと思う。
- ・委員 応募者数が予想以上に多かった事はとても良かった。ブランコが当初予定より10体ほど増えているが、バランスがちょうど良いと感じる。また、市内全児童に案内を配布したことは画期的で、多くの市民の関心を得ることにつながった。仮囲いに貼る作業はアーティストの長谷川さんが行い、しっかりした作品に仕上げた事も結果的に良かったと思う。
多くの市民の関心を得る事がとても重要と思っていたが、参加者がどの地域から集まったか、把握していれば教えてほしい。
- ・事務局 当日集めたアンケートで、通っている小学校を記入頂いているので、まとめた物を後日提示する。

2. 現場視察

- ・建設工事現場と仮囲いアートの見学を行った。

- **委員** 中央通り側の桜並木について、現在伐採済のものを含め、クリーンセンター側で4本が枯れており、並木の一部分が抜けている状況になっている。体育館側の歩道の桜も一部枯れており、緑のまち推進課との相談になるだろうが、桜は歩道には植えず新クリーンセンター側のコミュニティ広場に植えることも考えられる。歩道と新クリーンセンター敷地内とで総合的に考えた方がよいと思う。
- **委員** コミュニティ広場の下はプラットホームであり植樹できる場所に制約がある。また緑のまち推進課は基本的に植え替えの方針であり、どこまで実現できるかは不明だが、意見として参考にさせて頂く。
- **委員** 工事が安全に管理されている状況が分かり、非常に良かった。地上部建物の壁面がどの位置になるのか、表示して頂けるとイメージがしやすいのではないかと。
- **委員** 今後地下掘削が完了した段階、建物が完成しプラント機器を入れる段階の2回程度、見学会を開催したいと考えている。その際には建物位置を示せるような方法を検討していきたい。
- **委員** 伐採した木をベンチとして再利用するとの事だが、現場に放置されている状態になっており、このままでは腐ってしまうのではないかと。利用するのであれば早く処置をした方がよい。煙突の既存タイルの再利用は無理とのことで承知した。煙突の仕上げに用いるポリウレタン塗装はどの程度の耐久性があるのか。
- **委員** 伐採した木は製材業者がなかなか見つからなかったために遅れている状況だが、対応を急ぎたい。また、ポリウレタン塗装の耐用年数としては15年程度であるが、今回の事業では20年間の管理運営契約も締結しており、稼働開始から20年後の引渡し時には、その後15年間は使用可能な状態で引渡しを受けることとしているため、稼働開始後15～20年あたりで補修することになるだろうと考えている。
- **委員** ルーバーの取り付けについては、配色などを協議会で事前確認する話だったかと思うが、実施して頂けるのか。
- **委員** 10月6日の協議会にて見ていただく予定である。
- **委員** 吉祥寺のキラリナにもルーバーが取り付けられているが、個人的にはあまり大したことはない印象だ。実際に取り付けてみると印象が異なる場合があるので、配色については協議会で検討を行うべきだろう。
- **委員** 建物へのルーバー取り付け時期は来年度の終わり頃になりそうだが、詳細時期を確認した上で提示する。建築の設えは事前にお見せできるタイミングでお見せしたい。煙突の色については次回協議会にて説明する。
- **委員** 煙突の足場はどの程度の幅になるのか。
- **事務局** 煙突の周囲に幅1800mm程度の足場を回す計画としている。
- **委員** かなり見た目のインパクトがあると思う。これを見て工事中と認識する住民もいるだろう。

3. 新クリーンセンター啓発イベント「クリーンセンターとあそぼう」の実施について

- 資料4「新クリーンセンター啓発イベントの実施について」に基づき、イベントの内容について事務局より説明。
- 資料5「むさしの環境フェスタ案内」に基づき、イベントの内容について事務局より説明。
- **委員** 12月7日のイベントについて、主催者に東京都と東京文化発信プロジェクト室も入っ

ているが、文化発信プロジェクトの事業として予算も出ているということか。

- **事務局** まだ正式に決定していないが、予算については東京都、武蔵野市の双方で負担することを考えている。
- **会長** ごみを通して私たちの生活を見直す、あるいはごみをごみにしないための暮らし方、ものにまつわる思い出・記憶等を考えるきっかけとなればよい。
- **委員** 音楽会とは、子供たちで楽器を制作し、演奏する事まで想定しているのか。
- **事務局** 今の所、一人ずつ演奏すること、別の楽器も合わせて皆で一緒に演奏することなど、何種類かに分けて開催する方向で検討している。
- **会長** このワークショップにはかなりの時間を要すると考えられる。参加する子供たちがこの時間に耐えられるかが心配だが、どのように考えているか。
- **事務局** 現段階の計画では、午前中から開始し、昼を挟んで午後まで拘束することになってしまったため、タイムスケジュール、プログラム等については今後調整していきたい。

6. その他

- **委員** 緑町コミュニティセンターとエコプラザ間の動線に関連して、当初はテニスコートの数を減らしてほしいという意見もあったと思うが、庁内で協議した上で無理との回答になったのか。また、撤去したクラブハウスに代わるものを今後整備することは考えているのか。
- **委員** 緑町コミュニティ協議会のプロジェクトチームからの提案は理解しているが、市としては野球場とテニスコートは現状の面積を確保した上で周辺整備を進めていくという方針で当初から説明してきた。従前のような大きなクラブハウスを作る考えはないが、防災トイレを兼ねるトイレは確保したい。周辺整備をどこまで行うかについては、庁内推進本部と協議しつつ、今年度中に一定程度の方向性を出して協議会に提示したい。
- **委員** 運動施設に関する全体の計画が見えない。運動施設利用者向けの駐車場は、総合体育館、陸上競技場も含め、今ある駐車場で足りるのか、今後どのように運用していく計画か示してほしい。市役所駐車場の土日開放などいろいろな意見があったが、北町としては他市住民の駐車場利用が多いという不満があり、駐車場はなるべく少ない形で運営できるように考えてほしい。庁内推進本部で運動施設全体としての計画を議論した上で、周辺協議会に提示頂き、こちらの意見をまた持ち帰って頂きたい。
- **委員** テニスコート利用者の中には、緑町コミセンに更衣室があると思って入ってくる人もいる。整備完了後に利用者がどのような行動をとるかということを考えてまちづくりを計画していく必要がある。
- **委員** 最近では運動場等で落雷事故により人が亡くなる事例もあり、テニスコート利用者が避難のために緑町コミセンを利用するという事も考えられる。コミセンとスポーツ施設管理者が協力し合う関係がよい。スポーツ施設の面積を減らすというより、周辺も含めた全体の安全向上を考えながら総体的に周辺まちづくりを議論していく必要があると考える。
- **委員** 市の各部から関係部長が集まっているとのことで、まちづくりの全体的な検討を進めて頂きたい。緑町1丁目の道路の拡幅等、住民から意見を出しているものの進んでいないという声もある。全体的な事項も考えて検討して頂きたい。

以上